

オペレーショナルリスク・マネジメント —共同データベースの活用とBPRの実践事例

日 時

2013年7月29日(月)
10:00~16:00 (受付開始9:30)

会 場

法政大学 新一口坂校 501 教室(東京都千代田区九段北 3-3-9)
<http://www.im.i.hosei.ac.jp/contact/access/>
 市ヶ谷駅(JR、有楽町線、南北線、都営新宿線) 徒歩 10分
 飯田橋駅(JR、東西線、有楽町線、南北線、都営大江戸線) 徒歩 10分
 九段下駅(東西線、半蔵門線、都営新宿線) 徒歩 15分

概 要

オペレーショナルリスクは、金融機関の業務全般に係る多種多様なリスクです。わが国でも事件・事故、顧客トラブルなどのリスク事象の共同データベースが構築され、リスク管理に、その本格的な活用を考える時代になりました。また、金融機関の収益環境が厳しくなるなかで、新たな視点で業務を見直し、BPRに積極的に取り組むことも求められています。

本研修会では、新たな局面を迎えたオペレーショナルリスク・マネジメントの取り組みの現状を整理するとともに、共同データ、共通シナリオの活用や、BPRの実践事例に関して紹介することを目的としています。

参加対象

経営マネジメント層、企画部門、リスク管理部門、内部監査部門、システム部門の管理者、担当者など幅広い層の方を対象にしています。

参加費用

会員/賛助登録して頂いた方は、初めて受講する研修セミナーの費用を無料とします。
 会員 年会費/年賛助金 10,000円 参加費用 初回無料、2回目以降 5,000円
 非会員 参加費用 毎回 10,000円

プログラム

- 10:00~11:20 オペレーショナルリスク管理の現状と高度化への課題
 FFR+代表(日本銀行金融高度化センター) 碓井 茂樹 氏
- 11:30~12:40 共同データベース —必要性と活用事例
 日本リスク・データ・バンク株式会社
 取締役常務執行役員 稲葉 大明 氏
- 13:40~14:40 北都銀行・事務集中センターのBPR—カイゼンの取り組み
 株式会社カイゼン・マイスター
 代表取締役社長 小森 治 氏
- 14:50~16:00 RCSAの実践 — 共通シナリオの活用
 有限責任あずさ監査法人
 シニアマネジャー 野下 裕文 氏

受講証明

CIA、CFSA、CCSA、CFE等に係るCPE申請のための受講証明を発行します(5CPE)

申し込み

協会ホームページよりお申し込みください。 https://ifra.jp/seminar_info/index.html